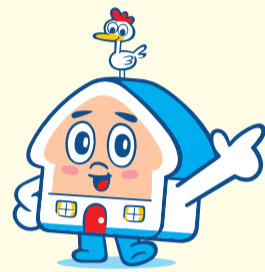


第4大題材は、消費生活と環境の内容を関連させて学習できます。

物を手に入れたり、使ったりするとき、あなたがだいにしていることは何ですか。どういふ物を選んで、どのように使うかという選択は、自分がだいにしている考えを表現することでもあります。



これは、教科書第4大題材42ページの文章で、「消費生活」と「環境」のつながりを伝えるものです。家庭科の見方・考え方の1つである「持続可能な社会」の視点をなるべく早いうちに意識させることが出来るよう、5年生の段階で「消費生活」と「環境」をあわせて扱っています。また、その隣の43ページには「SDGsでつくる私たちの未来」という特設ページを新設し、SDGsを学ぶことで、より家庭科の大切さに気づけるようにしました。

教 p.43

今、私たちの身の回りにたくさんの問題があります。その問題を解決するために、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) という世界共通の目標が定められています。その中の1つに、未来の世代にも美しい環境を残していく持続可能な社会づくりの視点もあります。この目標の達成に向け、たくさんの人たちがそれぞれの立場で活動しています。

家庭科で学んだことは、よりよい生活をつくり、持続可能な社会に向けての課題を自分の視点で見つけ、友達や周りの人たちと協力・協働しながら、SDGsの実現という大きな目標を達成することにつながっていきましょう。まずは自分から、今から行動していきましょう。

教科書にはSDGsにつながるヒントがたくさんあるよ！探してみよう。

ほかにもいろいろな視点がありそうだね！

上手な物の選び方や使い方の学習を生かし、自分らしく持続可能な暮らしの工夫が実践できますか。周りの人と意見を交流し、評価・改善していきましょう。

教 p.43

教科書の学習内容から、SDGsにつながる内容がないか、児童が自ら考えられるようになります。まずは、環境マークがヒントになります。

環境

教科書の中では、環境マークで環境に配慮した生活のポイントを示しています。

SDGsについて学んだ後は、さまざまな場面でSDGsの視点をもって考えられるように工夫しています。

学んだことを生かして生活を楽しもう！

教 p.111

地域の人々とのふれ合いは、SDGsにもつながるね！

教 p.134

家に残っていた布を使って、SDGsの視点も入れたよ。

教 p.134

地域の一員として

家族の一員として

自分

教 p.133

ステップ3の「ふり返ろう」は、ステップ1・2で学習してきた消費生活の内容と、ステップ2・3で学習した環境への配慮をあわせて考えられるような設問にしました。自分ごととして問題を捉えることで、以後の学習でも継続してSDGsの視点を持ちながら学習できるよう工夫しています。